

事業所における健康づくり対策アンケート調査と特定健診問診結果との比較

H24.11 中北保健所作成

【調査目的】

○中北管内にある A 事業所に対して、働き盛りの健康状態を知り、課題を抽出し地域・職域保健が連携して問題解決の取組を行う

【調査対象】

○中北管内にある A 事業所役員以外の社員、協力会社社員 男性のみ 298 名
 アンケートは役員以外の 300 名に配布されたが、女性 2 名は対象外なので有効調査数は 298 となる
 (アンケート回収率 86% : 300 枚配布し、257 枚回収)

【調査日】

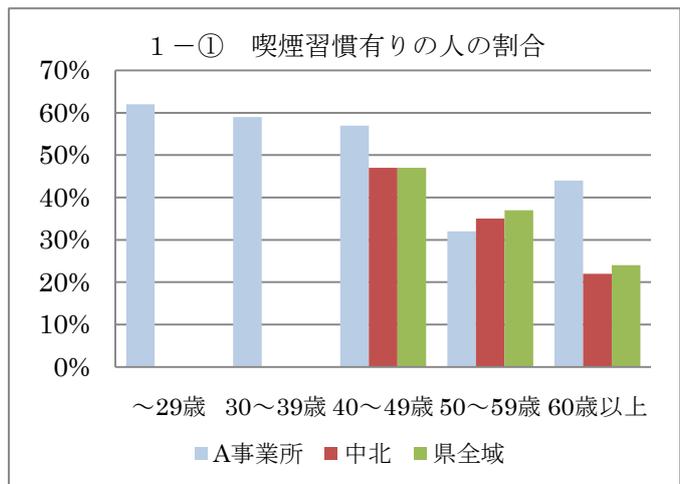
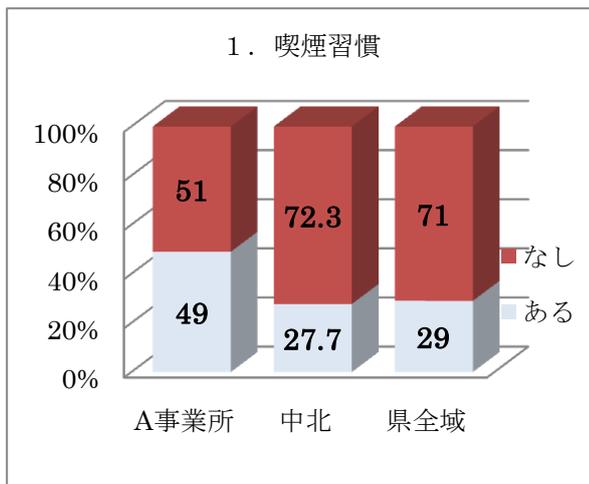
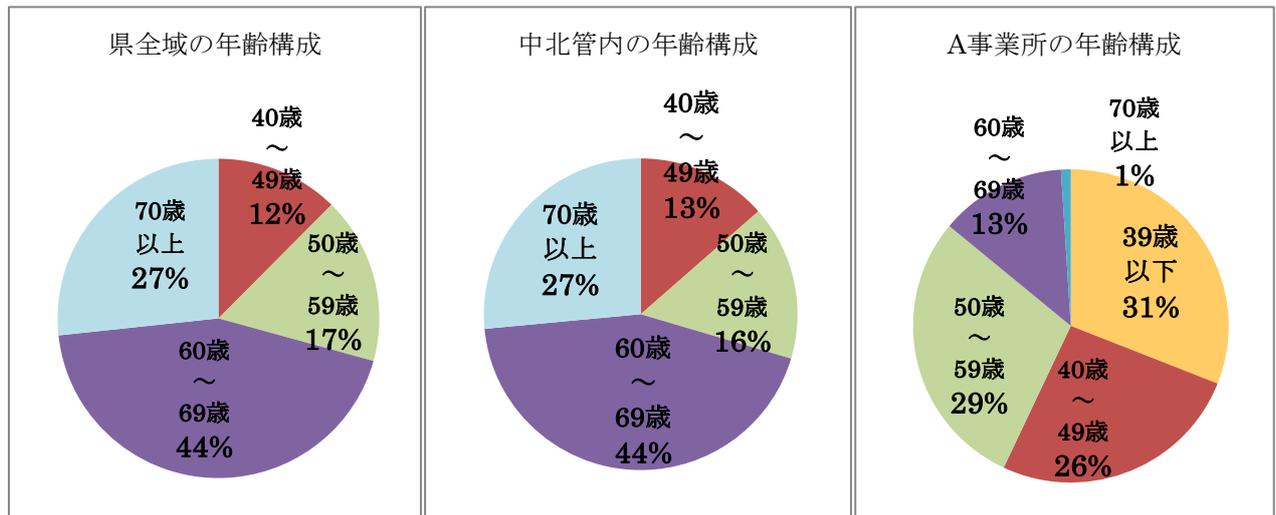
○平成 24 年 出前講座実施日

【比較対象】

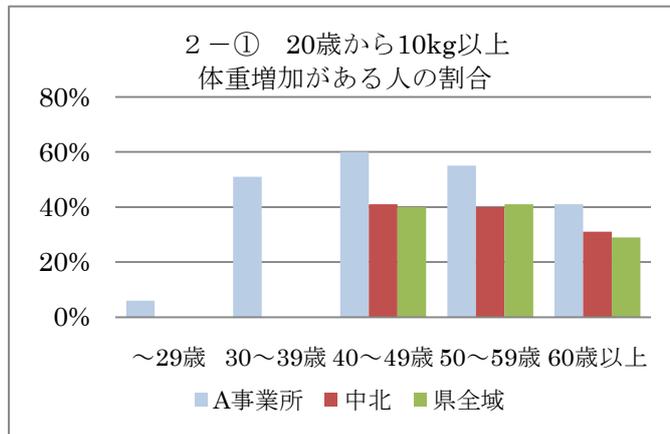
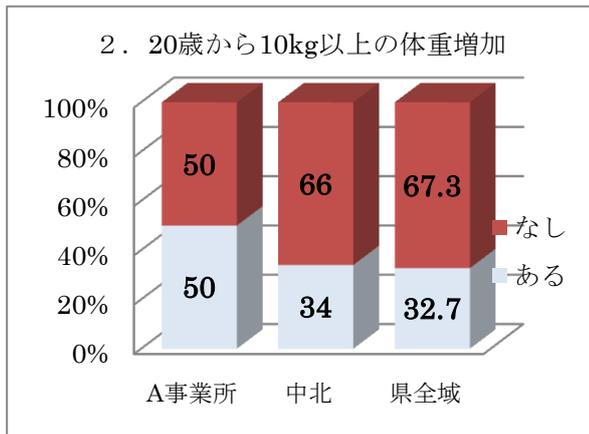
○平成 21 年度 国保特定健診結果 県全域 男性 26,766 人
 " " " 中北 男性 8,118 人 (甲府市、甲斐市、中央市、昭和町)

【調査方法】

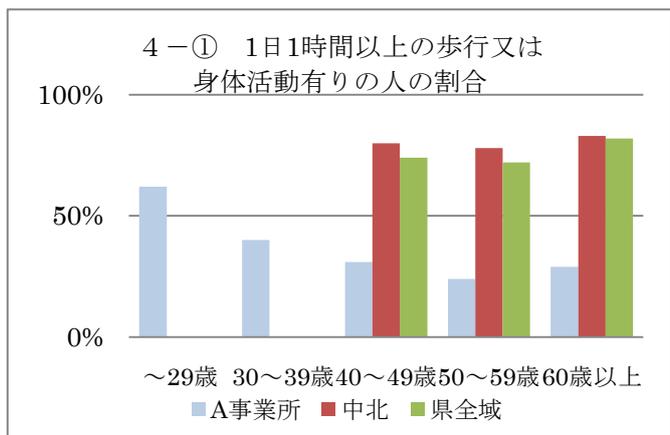
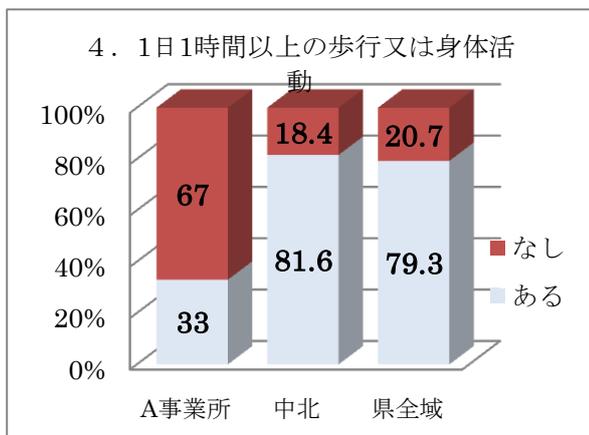
○出前講座の資料と一緒に特定健診問診票と同項目の調査用紙を配布し、講義終了後に記載し事業者が回収、後日保健所へ持参してもらった



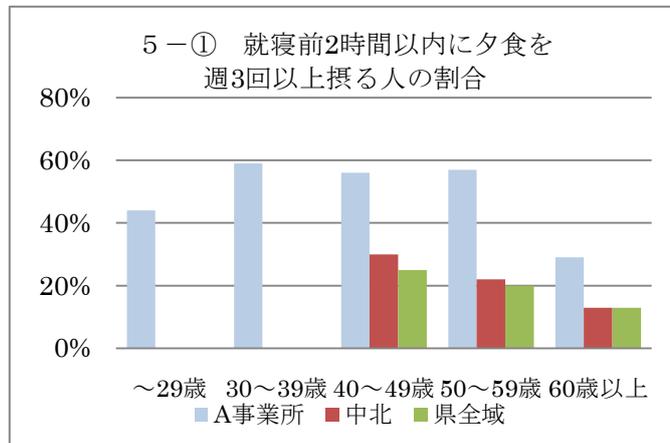
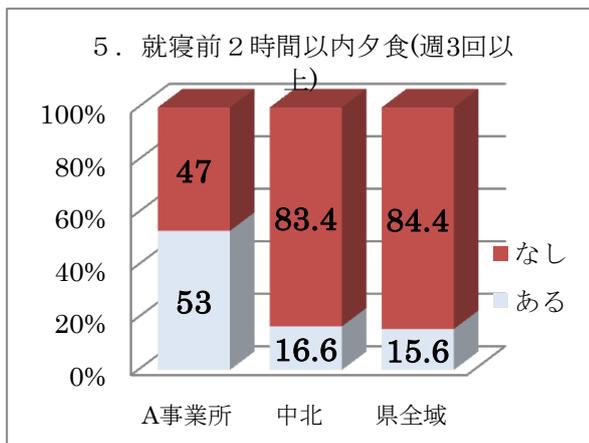
A 事業所は管内や県内全域にくらべ喫煙習慣がある人の割合が高い。



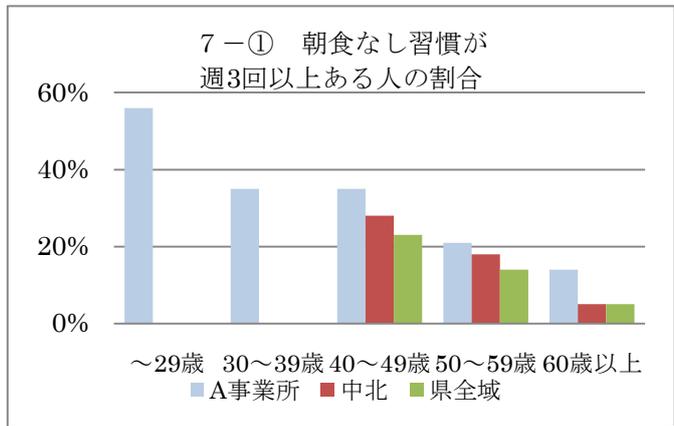
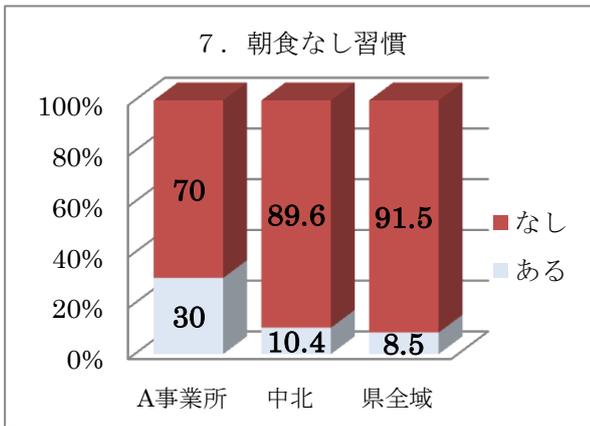
A事業所は管内や県全域に比べ体重増加がある人の割合が高い。



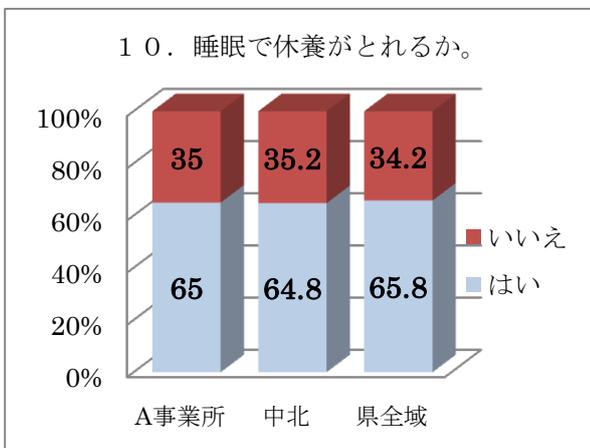
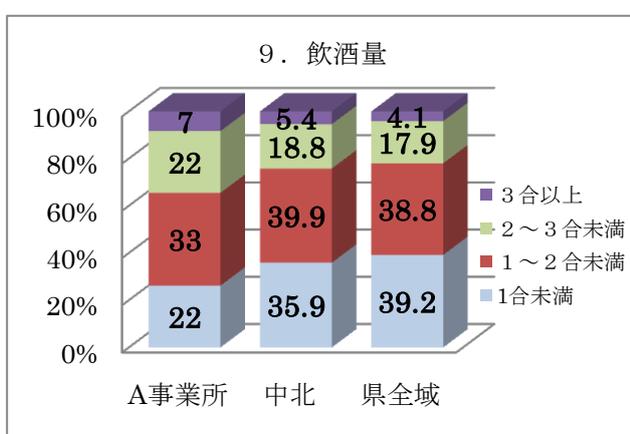
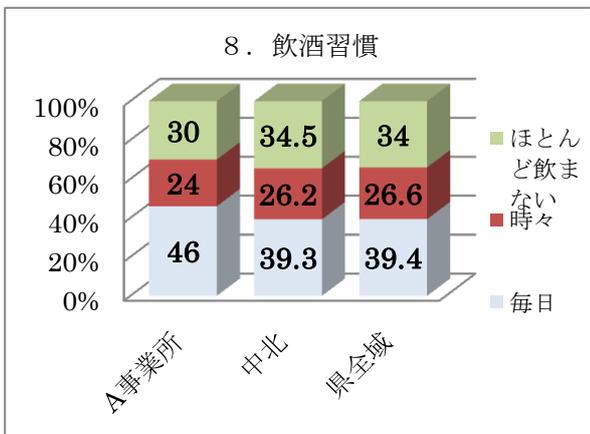
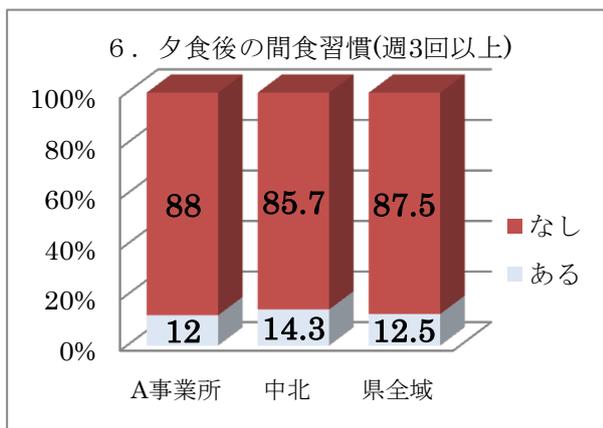
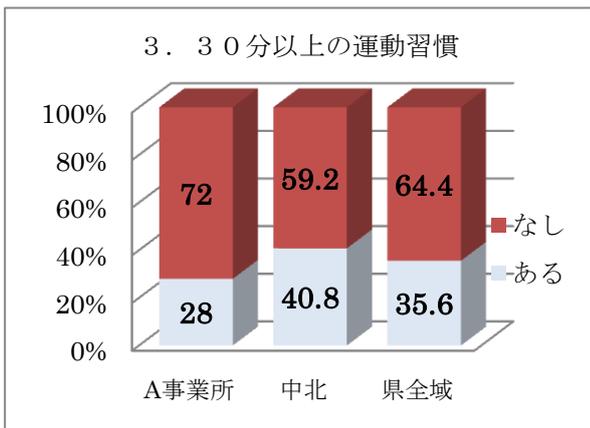
A事業所は管内や県全域に比べ歩行又は身体活動を1時間以上実施している割合が著しく低い。



A事業所は管内や県全域に比べ週3回以上就寝前に2時間以内に夕食を食べる人の割合が高い。



A事業所は管内や県全域に比べ週3回以上朝食なしの人の割合が高い。



～考えられる課題～

A事業所の40, 50代は国保の特定健診受診者の同年代に比べ健康課題（喫煙・体重増加・夕食時間・朝食なし）をもつ人の割合が高い。これらの健康課題は30代から割合が高くなっており、若い世代への働きかけが重要ではないかと思われる。